

## 授業科目

## 聴覚系構造・機能・病態

担当教員名 佐藤 克郎	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期b	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

## 授業の概要

聴覚系の構造・機能・病態について聴器の微細構造と巧妙な聴覚機構、そしてその障害としての難聴をめぐって概説する。

## 授業の目的

聴覚に関する基礎的知識を理解して、言語聴覚士の臨床に応用できる知識を得る。

## 学習目標

講義内容を整理し理解して、きちんと説明ができるようにまとめる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	聴器の構造：外耳、中耳	構造	佐藤 克郎
2	聴器の構造：内耳、聴覚伝導路と聴中枢	講義	佐藤 克郎
3	聴器の機能：集音機構、伝音機構	講義	佐藤 克郎
4	聴器の機能：感音機構	講義	佐藤 克郎
5	聴器の病態：伝音難聴	講義	佐藤 克郎
6	聴器の病態：感音難聴	講義	佐藤 克郎
7	聴器の病態：後迷路性難聴	講義	佐藤 克郎
8	聴器の病態：皮質性難聴	講義	佐藤 克郎

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	言語聴覚士のための講義ノート 聴覚系耳科学 ―聴覚系の構造・機能・病態―	中野雄一	考古堂書店	2010年	2,000円	
参考書						
その他の資料						

## 評価方法

学習状況と定期試験から評価する。

## 履修上の留意点

学習ノートは学問体系を知る上で重要であり、作成には工夫が必要である。

## オフィスアワー・連絡先

katsuro-sato@nuhw.ac.jp (まずメールにて連絡をしてください)